

8月30日 **ピアノの魅力伝えたい 一丸亜衣さん県代表に**

「県高等学校音楽コンクール・ピアノ部門」に出場した一丸亜衣さん（大分高3年・武蔵町麻田）が最高賞である金賞を受賞し、九州大会（11月15日・福岡県）の県代表に選ばれました。一丸さんは「4歳から始めたピアノで、やっと成果が出せてうれしいです。九州大会では自分らしさを出して演奏したい」と話しています。



▲週末は自宅に帰り練習を続ける一丸さん



9月1~3日 **22年目 武蔵大学の農業体験交流**

武蔵大学（東京都）の丸橋珠樹教授と学生6名が、武蔵町の農家で農業体験研修を行いました。長廣正光さん（丸小野）宅では、うどん打ちやもちつき、ねぎ餃子や牛乳豆腐づくりなど食の交流をしたほか、萱島酒造や三浦梅園資料館などで「国東半島の農業の今と歴史」について見識を深めました。

◀ねぎ餃子を作る武蔵大学のみなさん

9月5日 **郷土芸能の伝承に 豊後万歳保存会が寄付**

くにさき豊後万歳保存会の有馬孝会長と平川和秀副会長が、「郷土芸能の伝承に役立ててほしい」と加藤正和教育長に、正月の祝儀などで集めた寄付金5万円を渡しました。保存会のみなさんは国東半島が発祥の地といわれる豊後万歳を継承しており、有馬会長は「国東を元気にしたい思いで正月や祝いの席で披露しています。子どもたちに郷土芸能のすばらしさを伝え、後継者を作りたい」と話していました。



▲寄付金を渡す有馬さん(中)と平川さん(右)



9月6日 **迫力の応援！ トリニータ市民観戦ツアー**

Jリーグ大分トリニータ対ロアッソ熊本戦の国東市民観戦バスツアーに56名の市民が参加し、熱心に応援しました。夫婦で参加した廣岡茂樹・衣奈さん(国見町大熊毛)は「はじめて観戦しましたが、応援の迫力や臨場感、選手の動くスピードに驚きました。また観戦したいです」と話していました。

◀2万人を超える観客で埋まった大分銀行ドーム

9月18日 **日整全国少年柔道大会に 市内から2人出場決定**

「県整備旗争奪少年柔道大会」で好成績をおさめ、全国大会（10月13日・東京）の県チーム代表選手に決定した2人が、三河市長に報告しました。6年の部で優勝した猪俣雄風君（国東少年柔道クラブ・富来小）は「県代表として上位をめざして戦ってきます」、5年の部で2位の小仲周太郎君（安岐少年少女柔道クラブ・安岐中央小）は「昨年の全国大会では悔しい思いをしたので、初戦突破をしたい」と意気込みを語る2人は、九州の強化合宿選手にも選ばれており、練習に励んでいます。



▲柔道の指導者らと訪れた猪俣君(左)と小仲君(右)



▲たくさんの来場者でにぎわう弥生のムラ



▲アーチの中をくぐった鷹に子どもたちもびっくり

9月7日 **古代祭り& T-1グランプリ**

晴天に恵まれた弥生のムラで「くにさき古代祭り」と「くにさきT-1グランプリ」が同時開催されました。市内外から3000人以上の来場者が訪れ、古代体験やステージ発表を楽しみ、タコやタチウオ、タイを使ったグルメを堪能しました。



▲T-1グランプリに出品されたグルメの数々



▲東津姫をつとめた今富香菜さん(国東町田深)

9月6日 **空の日で国東をアピール**

大分空港で「空の日イベント」が開催され大勢の来場者でにぎわいました。ソラシドエア機「世界農業遺産の里 国東号」の見学会には市内外から20人の親子が参加し、楽しみました。またターミナルビルでは、ソラシドエアの社員と市職員らが、乾し椎茸のつかみどりや七島イを展示して国東市をアピールしました。



▲国東号と一緒に記念写真



◀飛行機や世界農業遺産クイズに挑戦する「ソラシド検定」

9月7日 **大漁！大漁！ 建て干し網漁**

国見の夏の体験イベント「観光建て干し網漁」が行われ、県内各地から親子連れなどが参加しました。潮が引き始めた海岸で、参加者たちは大物ゲット！歓声を上げながらタコやタイなどを捕まえました。



▲参加者のみなさんは捕獲に夢中！



▲タコがとれたよ！

建て干し網漁は、8月から会場をくにみ海浜公園に変更し、集客の向上も期待されます。なお、最終開催日は10月11日(土)の予定です。